

令和2年5月29日

報道各位

通常総会決議事項について

令和2年5月29日開催の第24回通常総会において下記のとおり決議されましたのでお知らせいたします。

記

- |       |  |                              |   |
|-------|--|------------------------------|---|
| 第1号議案 | 第91期事業年度                                   | 〔 自平成31年4月1日<br>至令和2年3月31日 〕 | 業務報告書、<br>貸借対照表、損益計算書及び損失処理の件<br>原案どおり承認可決された |
| 第2号議案 | 令和2年度会員加入金の額決定の件<br>会員及び1市場受託会員（1口あたり）28万円 |                              | 原案どおり承認可決された                                  |
| 第3号議案 | 任期満了に伴う役員改選の件                              |                              | 原案どおり承認可決された（別添役員名簿）                          |

以上

## 大阪堂島商品取引所 役員名簿

役名	氏名	所属等
理事長	おかもと やす あき 岡本安明	岡安商事（株） 代表取締役会長

役名	氏名	所属等
理事	あお やま ひで よ 青山秀世	日産証券（株） 取締役副社長
〃	あり ま せい ご 有馬誠吾	（株）コムテックス 代表取締役社長
〃	いく た はじめ 生田 一	学識経験者
〃	おか ち しゅう いち 岡地修一	岡地（株） 専務取締役
〃	くさ か しん いち 日下伸一	豊商事（株） 取締役
〃	くりや ひで とし 厨 秀俊	全国米穀販売事業共済協同組合 常務理事
〃	さ とう ひろ のり 佐藤広宣	（株）カーギルジャパン 穀物油脂本部 穀物グループ 統括部長
〃	しげ みつ たつ お 重光達雄	SBIフューチャーズ（株） 取締役会長
〃	すず き かつ お 鈴木勝夫	大阪堂島商品取引所
〃	に しな かず ひこ ※仁科一彦	大阪大学、明治学院大学
〃	ふじ み とく お 藤見徳男	大阪堂島商品取引所
監事	さくら い とし お 櫻井敏雄	岸和田食糧（株） 代表取締役
〃	わた なべ けんいちろう 渡邊健一郎	サンワード貿易（株） 管理部マネージャー

※ 仁科一彦は、総会後に開催した臨時理事会において理事長選任理事として承認された。

理事・監事は五十音順

第91期事業年度

# 業 務 報 告 書

〔 自 平成31年4月 1日  
至 令和 2 年3月31日 〕



**大阪堂島商品取引所**  
OSAKA DOJIMA COMMODITY EXCHANGE

# 目 次

## 業 務 報 告

1. 業務の概要	1
2. 市況概況	3
3. 会議概要	
1) 総 会	9
2) 理事会等	9
4. 登記事項	9
5. 会員に関する事項	10

## 決 算 報 告 書

1. 貸借対照表	11
2. 損益計算書	12
3. 損失処理	13

## 参 考 資 料 ( 統 計 )

1. 商品別出来高表	15
2. 今期の概要	16
3. 会員別・売買高及び受渡高表	18

会 員 名 簿	19
---------	----

# 第 9 1 期 業 務 報 告

自 平成 3 1 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 3 1 日

第 9 1 期における業務の概要及び決算について、次のとおり報告いたします。

## 業 務 報 告

### 1. 業務の概要

当期の我が国経済は、上半期こそ緩やかな拡大基調を持続していたところですが、下半期には米中貿易摩擦を受けた国際的な金融緩和により資産価格が上昇する一方、実体経済は消費増税等の影響により悪化するといった不安定な状況にあるなかで、年末に中国で発生した新型コロナウイルス感染症が、年度末にかけて世界的に大流行し、その収束の目途が見いだせない等、未曾有の事態を迎えるに至りました。

本所におきましては、このような経済情勢のもとで、農業団体主催の需給を反映した米の価格形成をテーマとするシンポジウムを後援する等、コメ先物の役割を広く社会に周知する活動を展開した結果、米穀の試験上場期間をさらに 2 年間延長する旨の定款変更が、農林水産大臣により認可されました。

その後、日本取引所グループの傘下に東京商品取引所が入る等の国内商品市場の再編を踏まえつつ、米穀の本上場に向けては、「宮城ひとめ 1 8」「秋田こまち 1 7」の米穀におけるラインアップ追加や商品先物取引法下での農産物市場の活性化を目指した上場商品のリニューアルの一環としての「とうもろこし 5 0」といった新たな取引を開始する準備を整えるとともに、将来の発展を見据えた継続企業としてのガバナンス構築と強固な財務基盤の構築を目指し、株式会社化に向けた各種検討を加速して参りました。

この結果、当期の取引高は 282,931 枚（前期比 121%）となったものの、それぞれの課題対応に向けた諸経費増等もあり、本年度決算では 284,970,750 円の当期損失金を計上（前期比 661%）する結果となりました。

本所が当期において実施した事項は次のとおりです。

#### (1) コメ先物の浸透・定着に向けた取り組み

近年の米穀の減反政策転換による生産現場の変化や自然災害の頻発といった不透明な米価をめぐる環境要因に対し、特に需給を反映した価格形成機能に焦点をあて、産業インフラとしてのコメ先物取引の必要性を広く関係者に理解いただき、併せて具体的な活用方法について啓発することを目的とした各種セミナー、勉強会を随時開催するとともに WEBSITE 及びメールマガジンサービスを通じた価格情報を中心とする情報提供を展開いたしました。

(2) 新たな取引の開始に向けた準備

米穀においては、生産者を中心とした関係者の先物市場に関するニーズを踏まえた第3の特定産地品種銘柄取引としての「宮城ひとめ18」及び活性化に向けミニ化した「秋田こまち17」について、また、とうもろこしについても商品先物取引法の枠組みでの取引環境を提供する視点から、再生に向けた制度改善をはかる「とうもろこし50」について、それぞれ取引開始の準備を整えました。

(3) 経営改革の着手

国内商品市場における健全な競争力を発揮するために新たな取引所像を示す中期経営計画を取りまとめるとともに、なかでも重要な課題である強靱な財務基盤構築に向けた株式会社化について、課題整理とその対応について積極的に取り組み、早期実現に向けての準備をすすめました。併せて、経営改革の基本指針や将来戦略について、従来にない視点からの意見集約をはかるため、外部識者を中心とする「経営改革協議会」を設置しました。

(4) デリバティブ普及への外部との連携

商品先物取引に関する大学寄附講座及び社会人に向けた特別講座を引き続き開設するとともに、コメ先物の啓発を目的とする書籍出版や本所受渡供用銘柄を対象とする会員によるインターネット通販の協力支援を行いました。

以上

## 2. 市況概況

### 〔東京コメ〕

4月、年度替わり需給の弱さを引継ぎながらも、期先令和2年2月限は、13,210円（前日比40円高）小幅高のスタートとなった。その後は、現物スポット市場の出荷状況を眺めながらの日替わり相場を繰り返しながらもボックス圏を抜け出せず、結局、13,180円で取引を終えた。他限月は売り買いともに手控えられた。

5月、消費低迷で販売がふるわない中、在庫にかかる倉庫保管料等のコスト面を意識して13日、期近令和元年6月限が13,700円（前日比300円高）のストップ高を付け、その後も、上値を追って13,830円まで上伸した。また、新潟コシが高止まりしていることでサヤ修正の買いに支えられて、令和2年2月限が13,480円（前月末比300円高）、4月限が13,520円（前月末比280円高）の上昇基調で取引を終えた。

6月、現物の荷動きも悪くマチマチな値動きを見せながら、今年はエルニーニョ現象にともなう冷夏が稲へ悪影響を与えるのではないかと懸念が台頭し、28日には令和元年10月限13,600円のストップ高を付けた。また、令和2年4月限は13,500円台を回復し、底堅い動きを見せた。他限月は、模様眺めムードから積極的な売買が手控えられて横ばい商状となった。

7月、新潟コシが下落する一方、秋田こまちが上昇に転じる中、令和元年産の生育状況を眺みながら、業務用米市場である東京コメは、期先2限月を中心に売買され31日、令和2年4月限は13,620円（前月末比100円高）、6月限が13,670円（前月末比130円高）と小幅な上昇となった。

8月、人気離散傾向から売り買いともに手控えられながらも、21日に新甫発会した令和2年8月限は、台風による収穫遅れへの懸念などが相場を下支えし、月末には13,690円と堅調に推移した。

9月、売り買いともに様子見商状ながらも、期先令和2年8月限は、台風や秋雨前線の影響から収穫が思うように進まず、作柄（収穫量）や品質の低下が懸念され、下振れするとの見方が広がったものの小幅な値動きのまま20日13,640円で引けた。

10月、当月限は納会を意識してか、産地の動向を眺めながらも徐々に値位置を切り上げ、結局、令和元年10月限は、14,000円（前年納会比510円高）で納会した。受渡しは5枚、平成30年10月限以来1年振りの受渡しとなった。一方、現物スポット市場では、東日本を中心とした豊作観測を背景に、関東産業務用米の値下げ圧力が見込まれることから、納会後は上値の重い展開となった。

11月、平成30年産(古米)の荷余り感が強いこともあって、令和2年8月限、10月限の下落傾向が続いている。中旬には8月限13,460円、10月限13,470円と月中の安値を付けた後は、需要回復への期待感から買い戻され底固い値動きとなった。

12月、売られすぎ感から買い戻されているものの、需給緩和見通しを背景に上値は重く20日、令和元年12月限は13,600円(前月納会比400円安)で納会した。受渡しは2枚。新甫令和2年12月限は13,720円で発会し、年末にかけ小幅な動きのまま大納会を迎えた。

1月、年末の水準でもち合いながらも、このところの記録的暖冬で積雪量が足りず、田植え時期の水不足が懸念され、期先令和2年12月限は、徐々に値を上げ22日には13,850円と月中の高値を示現した。その後は民間在庫の水準が高いことへの警戒感や米消費量の減退を背景に上値が重く軟調に推移した。

2月、新型コロナウイルスの感染が拡大していく中で、外食向け等の米需要に少なからず影響が出るとの見方が一気に広がり20日、令和2年6月限、8月限が揃ってストップ安の13,400円を示現した。一方、令和2年2月限は13,500円(前月納会比100円安)で納会を迎え、受渡しは1枚だった。また、新甫令和3年2月限は13,750円で発会した後は、安値拾いの買いが入り堅調な動きを見せた。

3月、新型コロナウイルスの感染拡大傾向によって、インバウンド需要の縮小とともに米の外食・中食へ向けた消費減退が懸念され、産地卸売業者が在庫を抱える状態となったことから、先安感の強い中全体的に下落基調で推移し、結局、期近令和2年4月限が13,250円、期先令和3年2月限が13,680円で今期を終えた。

なお、今期合計受渡枚数は、期日受渡し8枚、合意早受渡し266枚であった。

## 〔新潟コシ〕

4月、去年の作柄の影響による品薄感から期先限月が前期からの続伸商状でスタートすることとなった。10日には期近平成31年4月限が19,500円の開所来高値を更新したが、さらに11日にも全面高商状となった。出来高も月別最高枚数の24,394枚であった。

5月、前月から引き続き品薄感が強く、9日には令和元年6月限がストップ高(18,900円)を付け、10日、期先中心に上げ基調となって、23日(19,300円)、24日(19,600円)と当限でストップ高を付けた。27日には令和元年12月限も期先2本に続いて17,000円の大台を付け、28日、期近令和元年6月限がストップ高(19,900円)、31日には当限高値更新(20,400円)まで上昇し、令和元年8月限(18,530円)と共にストップ高となった。

6月、品薄感は続き3日に令和元年10月限が期先3限月に続いて17,000円台に乗せた。20日の令和元年6月限納会は平成31年4月限の納会より900円高い20,040円の最高値を

付けて取引終了となった。

7月、端境期も近付きひっ迫感も強くなり1日、2日、4日、5日に期近令和元年8月限がストップ高となり、現物相場と同様の大台越えの20,000円となった。8日には期近限月として20,600円の最高値、その他限月でも最高値を更新したもののその後一転して下げ基調となり、18日(19,800円)、19日(19,500円)の2日連続でストップ安となり、20,000円の大台を割って、月末まで下げ基調で推移した。

8月、1日に令和元年8月限が先月末からの弱気傾向を引き継ぎ、ストップ安(18,200円)を付けたが、以降納会までは値動きなく推移することとなった。(納会値段：18,200円、受渡枚数：3枚)

市中取引では平成30年産は品薄だったものの、令和元年産の平年並みの作柄を期待して相場の動きは鈍くなり、期近限月以外は上げ下げまちまちの様子見商状であった。

9月、新米の収穫時期を迎えようとする中で、令和元年産限月が動意付き、3日には先限の最高値(17,280円)を更新。出来高も月別最高出来高(25,065枚)を更新することとなった。

10月、全面高でスタートしたものの農林水産省発表(9月15日付)の作況指数(101)が影響し、期先限月は下落傾向となり、令和元年10月限納会は8月の台風10号のフェーン現象の影響から品質の低下が著しい量が見込まれる中で受渡枚数312枚中300枚の受渡品が令和元年産2等という結果となった。納会後は引き続き軟調な値動きで推移した。

11月、農林水産省発表(10月15日付)の作況指数(99)の影響から上げ下げまちまちの商状となった。

12月、3桁の値動きを含めて上げ下げまちまちの展開で推移する中、19日には全限月が17,000円の大台を割った。令和元年12月限納会も受渡枚数114枚中90枚が令和元年産2等という結果となった。年末の大納会は令和2年4月限～令和2年8月限が3桁の続伸となり取引を終えた。

1月、大発会は総じて堅調な値動きとなり、17,000円の大台に戻す日もあったが上げ下げまちまちの値動きとなった。

2月、令和元年産限月の下落から令和2年6月限、令和2年8月限が引っ張られるように17,000円の大台を割り、17日には令和2年4月限(16,300円)、令和2年6月限(16,450円)がストップ安を付けるなど、総じて弱気優勢の展開で推移することとなった。20日、21日には一部限月でストップ安(20日：4月限16,150円、6月限16,300円、21日：8月限16,230円)になった。

3月、新型コロナウイルスの感染拡大傾向の影響で、市中取引が鈍り、10日、13日は令和2年6月限・令和2年8月限がストップ安(10日：15,820円、15,920円、13日：15,520円、15,560円)、期先限月も追随して続落となった。18日には令和2年4月限がストップ安(15,150円)を付け、23日にも令和2年4月限～令和2年8月限がストップ安(14,850円、15,220円、15,310円)を付けた。期近令和2年4月限は14,990円、期先令和3年2月限は15,420円で期を終えた。

なお、期中における合意早受渡しによる受渡数量は420枚(632.52トン)となり、期日受渡しと合わせた受渡数量は、1,101枚(1,654.02トン。前年度比277.98トン減)であった。

### 〔秋田こまち〕

4月、新潟コシに続く産地品種特定(単一)銘柄市場の第二弾として、昨年10月22日に取引を開始した秋田こまちは、2番限～5番限の5月限で新年度を迎え、期先2月限は14,640円でスタートしたが、前期末の小幅揉み合い商状を引き継ぎ、保ち合い商状が続く中、農林水産省発表の各都道府県作付動向による平成30年産米が供給過多となって需給が緩むとの見方が先安感を強め、月央にかけて期先限月を中心にジリ安歩調を辿った。22日、新甫4月限が14,600円を始値として発会したことにより全6限月が出揃ったが、手掛かり難から小幅な値動きに終始した。

5月、米穀機構発表のコメ動向調査結果によると、平成30年度米消費量は16か月連続で減少となり、需給緩和観測が広がって期先限月を中心に再び続落基調となり、9日、令和2年2月限は14,250円の上場来安値を示現した。一方、足元の品薄を映して期近限月は旺盛な買いが先行し、24日、期近6月限は一代高値となる14,850円を示現した。28日、農林水産省発表の令和元年産の主食用米作付動向が平成30年産実績と比較して「減少」傾向15道府県と2月末時点(6府県)から増加したことを受け、値崩れ警戒感から作付けを抑制した地域が増えたことが支援材料視され、期先限月を中心に続伸した。

6月、秋田こまちや新潟コシなどナショナルブランド米を中心にした品薄傾向から買い優勢商状となり、また、エルニーニョ発生に伴う冷夏予想や、生育期を迎えた秋田地方の干害、備蓄米入札を通じた需給の引き締めを狙う政府の姿勢が支援材料となって、期近限月が急騰し、12日、期近6月限は約8か月ぶりに上場来高値を更新して15,900円まで上伸した。その後も逆ザヤ傾向が続く中、20日、秋田こまち初の納会は、納会値段15,900円、受渡枚数1枚の平穏納会となった。

7月、市中相場の動向を映して基調は強く、昨年の不作の影響で生産量が減少、売り物が出ない状況にあっても卸売業者の購買意欲は強く、期近8月限は上値を試す展開となり、値位置を切り上げた。中旬以降は日照不足と低温続きで品質面への影響が心配される中、25日、期近8月限は上場来高値更新となる17,450円まで急伸した。

8月、これまで一本調子で上昇してきた秋田こまちだが、秋の新米シーズンを目前に控えたところで関東産早場米が出回り始め、需給逼迫感が急速に薄れたことが下落圧力となり、期先限月を中心にジリ安の展開となった。20日、平成30年産米最後の納会となる8月限納会は、納会値段17,450円、受渡枚数1枚の平穏納会となった。

9月、農林水産省が令和元年産米の作柄状況を発表、新潟や秋田など10道県で「やや良」（前年比102～105%）の豊作見通しが伝えられると、先安感から商いを手控える向きが多く、保ち合い商状が続いた。20日、期近10月限が14,600円まで値を下げた後は、夏場の高温障害による品質低下懸念による買いが入る一方で、産地での収穫に伴う需給を意識した売りや、コメ消費量の減少傾向を嫌気した売りに押されて続落するなど、高安マチマチの展開となった。

10月、新米商戦も中盤に入ってくると、出回り量の増加に加えて、品質低下による価格下落圧力が強まり、納会を目前に控えた期近10月限は連日ストップ安を示現した。8日、約5ヶ月ぶりに上場来安値更新となる14,000円まで急落した後は、中旬に発生した台風19号による浸水被害が産地では限定的であったことから様子見姿勢を強め、18日の平成30年産新米対象限月である10月限は、納会値段14,000円、受渡枚数7枚の平穏納会となった。

11月、農林水産省が先月31日に発表した秋田県の平成30年産米の作況指数が「やや良」の104だったことから、これまで大勢を占めていた豊作見通しは後退することとなったものの、低迷する新米商戦は引き続き盛り上がりを欠き、これに伴って先物相場も軟調な推移となり小幅安で月末を迎えた。

12月、前月から引き続き期先限月を中心に小幅安で始まった後、平成30年産米の在庫整理に加え、令和元年産米の需給逼迫懸念の後退により上値の重い展開となって弱含みで越年した。12月限納会は、納会値段14,400円、受渡枚数2枚の平穏納会となった。

1月、年明け後は、買い一巡して、値動きの乏しい市中相場動向を映して保ち合い商状で始まった後、物流コスト増大や暖冬による水不足懸念も下支え材料となって、22日、期先限月は14,430円まで値を戻した。23日、本銘柄の取引（受渡）単位が204俵から17俵へ引き下げられる等、商品設計の見直しが発表されると、様子見姿勢を強めて期先限月を中心に小幅な値動きとなった。

2月、農水省が発表した12月末現在のコメ民間在庫が322万トン（前年同月比21万トン増）と3年ぶりの高水準となった上、新型コロナウイルスによる外食向け等のコメ需要の減少見通しが強まり、消費の減退がより一層鮮明になって、先安感から期先限月を中心にジリ安の展開となった。中旬以降は、他銘柄が連日ストップ安を示現する中、秋田こまちも売り優勢の中で納会を迎えた。納会値段は、14,450円、受渡枚数0枚だった。

3月、本来なら格上である関東産コシヒカリと相場が逆転するなど、これまで高止りを続けてきた秋田こまちの市中価格が、潤沢な在庫状況から下げ圧力となって大幅に下落することとなった。それに伴って先物価格も期近限月を中心に売られて、17日、期近4月限が上場来安値を更新して13,900円の底値を付けた。その後は様子見姿勢を強め、期先令和3年2月限は14,220円で期を終えた。なお、期中における期日受渡しは11枚、合意早受渡しは1枚であった。

#### 〔米国産大豆〕

期初、期近、期先ともに49,000円で発会した後、手掛かり難から期末3月まで動意なく推移し、期近49,000円、期先48,000円で年度を終えた。

#### 〔小 豆〕

期初、期近、期先ともに12,390円で発会した後、手掛かり難から期末3月まで動意なく推移し、全限月12,390円で年度を終えた。

#### 〔とうもろこし〕

期初、期近、期先ともに24,000円で発会した後、手掛かり難から動意なく推移した。令和2年1月、昨今の当業者ニーズを踏まえ、ブラジル産とうもろこしを受渡共用品に加え、受渡港を鹿島港及び志布志港と二大揚げ地に変更し、受渡単位と取引単位を50トンに統一、また取引限月偶数月から奇数月に変更する等、商品設計を大幅に見直した「とうもろこし50」の取引が令和2年4月16日に開始されることが伝えられると、様子見姿勢が強まり値動きなく期近、期先ともに24,000円で年度を終えた。

#### 〔粗 糖〕

期初、期近、期先ともに42,110円で発会した後、手掛かり難から期末3月まで動意なく推移し、全限月42,110円で年度を終えた。

### 3. 会議概要

#### (1) 総会

各議案について原案どおり承認可決された。

第 23 回通常総会（令和元年 5 月 30 日）

1. 第 90 期事業年度（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）業務報告書、貸借対照表、損益計算書及び損失金処理案承認の件
2. 令和元年度会員加入金の額決定の件
3. 役員選任の件

第 52 回臨時総会（令和元年 7 月 16 日）

1. 定款一部変更の件

第 53 回臨時総会（令和元年 7 月 29 日）

1. 定款一部変更の件

第 54 回臨時総会（令和 2 年 2 月 7 日）

1. 定款一部変更の件

第 55 回臨時総会（令和 2 年 3 月 30 日）

1. 令和 2 年度事業計画及び収支予算制定の件
2. 令和 2 年度会費の賦課及び徴収方法制定の件

#### (2) 理事会等

今期中の理事会、監事会及び常設委員会等の開催数は次のとおりで、それぞれ担当事項について審議した。

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. 定例理事会     | 12 回（うち書面審議 2 回） |
| 2. 臨時理事会     | 5 回（うち書面審議 4 回）  |
| 3. 監事会       | 2 回              |
| 4. 諮問委員会     |                  |
| 米穀取引運営委員会    | 6 回（うち書面審議 6 回）  |
| 5. 市場取引監視委員会 | 4 回（うち書面審議 1 回）  |

### 4. 登記事項

令和元年 5 月 30 日

出資金変更 1 億 2,110 万円（平成 31 年 3 月 31 日現在）

令和元年 5 月 30 日

目的等の変更 米穀の試験上場期間を 8 年から 10 年に変更

## 5. 会員に関する事項

### (1) 一般会員の異動

区 分	平成31年3月末現在	加 入	脱 退	持分譲渡・譲受	令和2年3月末現在
農産物市場	47	1	1	(1)	47
農産物・ 飼料指数市場	9	0	3	—	6
水産物市場	8	0	2	—	6
砂糖市場	8	1	2	—	7
実 数	58	1	2	(1)	57

注) ( )は会員、受託会員間の異動数

### (2) 受託会員の異動

区 分	平成31年3月末現在	加 入	脱 退	持分譲渡・譲受	令和2年3月末現在
農産物市場	10	0	0	(1)	10
農産物・ 飼料指数市場	6	0	0	—	6
水産物市場	6	0	0	—	6
砂糖市場	5	0	0	—	5
実 数	10	0	0	(1)	10

注) ( )は会員、受託会員間の異動数

#### 1. 会員加入

2019.11.21 (株)AH Products (農産物市場)

#### 2. 持分譲渡による会員脱退

2020.3.16 日本ユニコム(株)(農産物市場、指数市場、水産物市場、砂糖市場)

#### 3. 市場脱退

2019.7.24 (株)アステム(水産物市場、指数市場)

#### 4. 市場変更

2020.2.17 カネツ商事(株)(指数市場→砂糖市場)

# 決 算 報 告 書

# 1. 貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	<u>259,428,307</u>	流動負債	<u>306,505,964</u>
現金及び預金	248,988,527	預り金	195,979,057
未収金	6,696,074	納税引当金	2,336,500
前払費用	2,019,086	賞与引当金	1,274,000
仮払金	1,390,000	未払金	87,482,424
立替金	334,620	前受収益	19,433,983
固定資産	<u>1,815,595,424</u>	固定負債	<u>1,234,321,576</u>
有形固定資産	<u>1,199,742,406</u>	信託借入金	942,480,000
土地	313,746,064	信認金	90,200,000
建物	737,553,196	職員退職給付引当金	111,942,464
設備	104,218,634	役員退職慰労引当金	33,699,112
什器備品	15,162,113	加入調整金	56,000,000
システム設備	29,062,399	負債の部合計	1,540,827,540
無形固定資産	<u>138,238,454</u>	純資産の部	
ソフトウェア等	138,238,454	会員出資金	<u>121,200,000</u>
投資その他の資産	<u>477,614,564</u>	会員加入金	<u>469,343,822</u>
所有有価証券	157,625,621	法定準備金	<u>1,237,913</u>
預け金	22,433,500	損失てん補準備金	1,237,913
所員貸付金	9,720,000	利益剰余金	<u>△ 57,585,544</u>
信託預け金	287,835,443	別途積立金	5,418,294
		特別担保積立金	457,000,000
		繰越利益剰余金	△ 520,003,838
		(内当期利益)	(△ 284,970,750)
		純資産合計	534,196,191
資産の部合計	2,075,023,731	負債・純資産の部合計	2,075,023,731

## 2. 損益計算書

自平成31年4月1日

至令和2年3月31日

(単位：円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
役員諸給与	95,142,405	定額会費	2,300,000
福利厚生費	19,522,178	定率会費	17,404,310
支払手数料	20,461,001	受渡手数料	277,400
事務費	2,054,599	システム利用料	28,135,200
運営費	51,181,372	情報提供料	9,260,800
諸会費	524,149	賃貸収入	192,848,407
諸税公課	35,385,277	附帯収入	89,668,242
賃借料	9,427,058	収入利子	2,349,078
建物管理費	60,079,652	雑収入	45,715,104
寄付金	1,089,000	建物特別引当金戻入	134,566,115
先物システム料	127,353,037	納税引当金戻入	5,369,027
広報戦略費	86,881,457		
修繕費	9,166,931		
減価償却費	97,069,781		
役員退任慰労引当金繰入	33,699,112		
職員退職給付引当金繰入	111,942,464		
賞与引当金繰入	1,274,000		
雑費	746,163		
信託報酬等	5,480,000		
支払利息	7,167,832		
役員退職金	19,999,330		
有価証券売却損	11,588,778		
固定資産除却損	4,918,857		
法人税等	710,000		
計	812,864,433	計	527,893,683
		当期損失金	284,970,750
合計	812,864,433	合計	812,864,433

### 3. 損失処理

(単位：円)

I 当期未処理損失金		<u>521,393,838</u>
前期繰越損失金	235,033,088	
当期損失金	284,970,750	
脱退会員持分返付金	1,390,000	
II 次期繰越損失金		<u>521,393,838</u>

以上のとおりであります。

令和2年5月

## 大阪堂島商品取引所

理事長	岡本安明
理事	鈴木勝夫
理事	藤見徳男
理事	岡地修一
理事	生田一
理事	佐藤広宣
理事	有馬誠吾
理事	青山秀世
理事	日下伸一
理事	厨秀俊
理事	仁科一彦
理事	重光達雄

以上の事項を監査の結果、正確適法であることを確認します。

令和2年5月

監事	櫻井敏雄
監事	渡邊健一郎

## 参 考 資 料 （ 統 計 ）

# 1. 商品別出来高表

銘柄 月別	東京コメ	新潟コシ	秋田こまち	小豆	とうもろこし
平成31年4月	727 (-1,797)	24,394 (+14,951)	559	0 (-358)	0 (-1,797)
令和元年5月	568 (-2,100)	22,211 (+13,410)	453	0 (-444)	0 (-1,896)
6月	566 (-1,663)	23,227 (+17,044)	409	0 (-395)	0 (-972)
7月	822 (-1,487)	23,761 (+17,815)	430	0 (-376)	0 (-756)
8月	209 (-2,682)	20,862 (+12,822)	68	0 (-412)	0 (-825)
9月	630 (-1,650)	25,065 (+18,744)	100	0 (-322)	0 (-648)
10月	312 (-2,708)	19,173 (+7,686)	4 (-1,200)	0 (-162)	0 (-324)
11月	505 (-4,064)	21,978 (+86)	105 (-2,709)	0 (±0)	0 (±0)
12月	426 (-4,964)	28,062 (+19,862)	142 (-2,457)	0 (±0)	0 (±0)
令和2年1月	438 (-2,422)	24,946 (+2,475)	101 (-4,628)	0 (±0)	0 (±0)
2月	327 (-709)	20,828 (+2,288)	69 (-1,513)	0 (±0)	0 (±0)
3月	506 (-405)	19,855 (+268)	93 (-666)	0 (±0)	0 (±0)
合計	6,036 (-26,651)	274,362 (+127,451)	2,533 (-11,154)	0 (-2,469)	0 (-7,218)

銘柄 月別	米国産大豆	粗糖	合計	1日平均	立会日数
平成31年4月	0 (-239)	0 (-240)	25,680 (+6,942)	1,284 (+347)	20 (±0)
令和元年5月	0 (-252)	0 (-251)	23,232 (+4,392)	1,223 (+326)	19 (-2)
6月	0 (-251)	0 (-252)	24,202 (+9,837)	1,209 (+525)	20 (-1)
7月	0 (-252)	0 (-251)	25,013 (+10,358)	1,137 (+439)	22 (+1)
8月	0 (-275)	0 (-276)	21,139 (+4,175)	1,006 (+268)	21 (-2)
9月	0 (-216)	0 (-215)	25,795 (+12,392)	1,357 (+612)	19 (+1)
10月	0 (-108)	0 (-108)	19,489 (+677)	928 (+73)	21 (-1)
11月	0 (±0)	0 (±0)	22,588 (-6,693)	1,129 (-265)	20 (-1)
12月	0 (±0)	0 (±0)	28,630 (+12,441)	1,363 (+511)	21 (+2)
令和2年1月	0 (±0)	0 (±0)	25,485 (-4,577)	1,341 (-241)	19 (±0)
2月	0 (±0)	0 (±0)	21,224 (+65)	1,179 (+65)	18 (-1)
3月	0 (±0)	0 (±0)	20,454 (-803)	974 (-89)	21 (+1)
合計	0 (-1,593)	0 (-1,593)	282,931 (+49,206)	1,174 (+216)	241 (-3)
今期の1日最高出来高 (令和1年12月4日)		1,992枚 (-970)	開所来の1日最高出来高 (平成14年6月17日)		218,101枚
今期の1日最低出来高 (令和1年10月29日)		339枚 (+84)	開所来の1日最低出来高 (昭和27年10月13日)		23枚

- 注) 1. 開所来の1日最低出来高については、旧大阪穀物取引所のもの。  
2. ( )内の数字については、前年との比較。  
3. 新潟コシは、平成28年10月21日取引開始  
4. 秋田こまちは、平成30年10月22日取引開始

## 2. 今 期

銘柄	区分 比較	最高値段	最低値段	加重平均	一日最高出来高	一日最低出来高	出来高合計	総約定代金
		円	円	円	枚	枚	枚	円
東京 コメ	今期中	(1.10.9) 14,000	(1.5.8) 13,150	13,540	(1.6.5) 114	(1.7.22) 0	6,036	16,345,046,000
	前期との比較	- 510	+ 300	+ 124	- 508	- 1	- 26,651	- 71,358,216,000
新潟 コシ	今期中	(1.7.8) 20,600	(2.3.24) 14,700	16,668	(1.12.4) 1,940	(1.10.29) 286	274,362	114,329,663,750
	前期との比較	+ 1,150	- 300	+ 356	- 152	+ 227	+ 127,451	+ 54,420,631,750
秋田 こまち	今期中	(1.8.29) 15,000	(1.10.8) 14,000	14,574	(1.7.30) 64	(1.7.29) 0	2,533	7,531,092,480
	前期との比較	- 90	- 300	+ 12	- 394	- 22	- 11,154	- 33,128,441,280
小 豆	今期中	(31.4.1) 0	(31.4.1) 0	0	(31.4.1) 0	(31.4.1) 0	0	0
	前期との比較	-	-	-	- 86	-	- 2,469	- 1,223,636,400
とう もろ こし	今期中	(31.4.1) 0	(31.4.1) 0	0	(31.4.1) 0	(31.4.1) 0	0	0
	前期との比較	-	-	-	- 96	-	- 7,218	- 8,184,700,000
米 国 産 大 豆	今期中	(31.4.1) 0	(31.4.1) 0	0	(31.4.1) 0	(31.4.1) 0	0	0
	前期との比較	-	-	-	- 12	-	- 1,593	- 762,200,000
粗 糖	今期中	(31.4.1) 0	(31.4.1) 0	0	(31.4.1) 0	(31.4.1) 0	0	0
	前期との比較	-	-	-	- 12	-	- 1,593	- 670,812,300
合 計	今期中				(1.12.4) 1,992	(1.10.29) 339	282,931	138,205,802,230
	前期との比較	-	-	-	- 970	+ 84	+ 49,206	- 81,648,615,270

※秋田こまちは、平成30年10月22日取引開始

# の 概 要

第91期

受渡高合計	内 合意早受渡し	立会日数	一日平均出来高	最高取組高	最低取組高	一日平均取組高	期末(3月末日) の取組残高
枚	枚	日	枚	(1.5.21) 枚	(31.4.1) 枚	枚	枚
274	266	241	25	1,533	1,123	1,381	1,481
+ 160	+ 166	- 3	- 109	- 754	+ 60	- 213	+ 376
枚	枚	日	枚	(2.3.31) 枚	(1.10.21) 枚	枚	枚
1,101	420	241	1,138	2,815	698	1,738	2,815
- 187	- 77	- 3	+ 536	+ 178	- 318	- 28	+ 640
枚	枚	日	枚	(1.7.26) 枚	(1.10.29) 枚	枚	枚
12	1	241	11	142	23	74	27
+ 12	+ 1	+ 135	- 118	- 112	- 65	- 82	- 112
枚	枚	日	枚	枚	枚	枚	枚
0	0	241	0	0	0	0	0
± 0	± 0	- 3	- 10	- 50	± 0	- 6	± 0
枚	枚	日	枚	枚	枚	枚	枚
0	0	241	0	0	0	0	0
± 0	± 0	- 3	- 30	- 50	± 0	- 6	± 0
枚	枚	日	枚	枚	枚	枚	枚
0	0	241	0	0	0	0	0
± 0	± 0	- 3	- 7	± 0	± 0	± 0	± 0
枚	枚	日	枚	枚	枚	枚	枚
0	0	241	0	0	0	0	0
± 0	± 0	- 3	- 7	± 0	± 0	± 0	± 0
枚	枚	日	枚	(2.3.31) 枚	(1.10.18) 枚	枚	枚
1,387	687	241	1,174	4,323	1,994	3,193	4,323
- 345	+ 52	- 3	+ 136	- 2,561	- 455	- 1,627	+ 904

### 3. 会員別・売買高及び受渡高表

○ 受託会員 △ 一般会員

(単位：枚)

順位	市場				会員名	合 計								
						売 買 高				受 渡 高				
	農	砂	水	指		農産物市場	砂糖市場	水産物市場	農産物・飼料 指数市場	計	農産物	砂糖	水産物	計
1	○	○	○	○	岡 安 商 事	339,362				339,362	2,459			2,459
2	○	○	○	○	豊 商 事	128,842				128,842	300			300
3	○		○	○	コ ム テ ッ ク ス	96,457				96,457				
4	○	○	○	○	岡 地	1,165				1,165	15			15
5	○	○	○	○	第 一 商 品	36				36				
6										0				
7										0				
8										0				
9										0				
10										0				
11										0				
12										0				
合 計						565,862	0	0	0	565,862	2,774			2,774

# 会 員 名 簿

## 凡例

○：受託会員（自己の計算による取引及び受託業務を行うことができる会員をいう。）

△：一般会員（自己の計算による取引のみを行うことができる会員をいう。）

農：農産物市場

砂：砂糖市場

水：水産物市場

指：農産物・飼料指数市場

## 受託会員

氏名・商号等	代表者 本所に対する代表者	所在地	電話	ファックス	農	水	砂	指
岡地株式会社	代表取締役社長 岡地 和道 専務取締役 岡地 修一	460-0008 名古屋市中区栄3丁目 7番29号 (大阪支店) 541-0056 大阪市中央区久太郎町 4丁目2番15号	052-261-3311  06-6282-3911	052-243-6745  06-6244-1362	○	○	○	○
岡藤商事株式会社	代表取締役社長 杉本 卓士	104-0033 東京都中央区新川2丁目 12番16号	03-3553-0711	03-5566-7797	○	○	○	○
岡安商事株式会社	代表取締役会長 岡本 安明 取締役最高顧問 岡本 昭	541-0041 大阪市中央区北浜2丁目 3番8号	06-6222-0001	06-6203-7700	○	○	○	○
株式会社コムテックス	代表取締役社長 有馬 誠吾 代表取締役相談役 桜井 明	550-0011 大阪市西区阿波座1丁目 10番14号 大阪堂島商取ビル	06-6543-2118	06-6543-8629	○	○		○
サンワード貿易株式会社	代表取締役社長 依田 年晃	162-0822 東京都新宿区下宮比町 3番2号 飯田橋スクエアビル (大阪支店) 530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目4番16号 アコア堂島NBFタワー西棟14F	03-3260-0211  06-6345-8011	03-3266-9082  06-6345-8255	○			
第一商品株式会社	代表取締役社長 正垣 達雄	150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル (大阪支店) 541-0056 大阪市中央区久太郎町 3丁目5番13号 又一ビル	03-3462-8011  06-6282-9411	03-3476-0819  06-6282-9435	○	○	○	○
日産証券株式会社	代表取締役会長 二家 勝明	103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1丁目38番11号	03-5623-0023	03-5623-4388	○			
北辰物産株式会社	代表取締役社長 釧持 宏昭	103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1丁目9番2号	03-3668-8111	03-3668-8118	○			
豊商事株式会社	代表取締役社長 安成 政文 代表取締役会長 多々良 實夫	103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1丁目16番12号 (大阪支店) 541-0056 大阪市中央区久太郎町2丁目 5番28号	03-3667-5211  06-6245-8000	03-3667-8219  06-6245-9367	○	○	○	○
SBIフューチャーズ 株式会社	代表取締役社長 チャン・ソク・チョン	106-0032 東京都港区六本木3丁目 1番1号	03-4563-3888		○			

受託会員計：10名

10 6 5 6

一般会員

氏名・商号等	代表者 本所に対する代表者	所在地	電話	ファックス	農	水	砂	指
株式会社アステム	代表取締役会長 阿竹康之 代表取締役社長 北川具宏	540-6591 大阪市中央区大手前1丁目 7番31号 OMMビル8F	06-4790-3401	06-4790-3411	△			
株式会社イクタツ	代表取締役 榎本隆治	132-0025 東京都江戸川区松江3丁目 16番6号	03-3651-5040	03-5607-1919	△			
伊丹産業株式会社	代表取締役社長 北嶋一郎	664-0851 兵庫県伊丹市中央5丁目 5番10号	072-783-0001	072-778-7070	△			
伊藤忠食糧株式会社	代表取締役社長 近藤秀衛 専務取締役 金子統	107-0062 東京都港区南青山一丁目 1番1号	03-5771-6371	03-5414-5367	△			
株式会社インタートレ ードヘルスケア	代表取締役 内藤敏裕	104-0033 東京都中央区新川1丁目17番 21号 茅場町ファーストビル3F	03-4540-3140	03-4540-3141	△			
上中米穀店	上中勝弘	599-8273 大阪府堺市中区深井清水町 3718	072-277-6363		△			
株式会社AH Products	代表取締役社長 原田暁	152-0003 東京都目黒区碑文谷4丁目 4番15号ガーデン碑文谷109			△			
SWAトレーディング 株式会社	代表取締役 太田浩之	162-0822 東京都新宿区下宮比町 3番2号 飯田橋スクエアビル	03-5261-7926	03-3266-9082	△			
株式会社エム・エフ・ジイ	代表取締役 増田太	591-8023 大阪府堺市北区中百舌島町 6丁816番地	072-252-0183	072-252-1992	△			
大阪堂島商取代行 株式会社	代表取締役社長 岡本安明	550-0011 大阪市西区阿波座1丁目 10番14号 大阪堂島商取ビル	06-6531-7934	06-6541-9343	△	△	△	△
大西商事株式会社	代表取締役社長 宇佐川定男 取締役相談役 内富健太郎	750-0006 山口県下関市南部町22番14号 (大阪支店) 550-0011 大阪市西区阿波座1丁目 10番14号 大阪堂島商取ビル	083-231-5155  06-6533-1861	083-222-5164  06-6533-1865	△		△	
岡和雄	岡和雄	553-0001 大阪市福島区海老江4丁目 3番1号	06-6451-1570	06-6451-1570	△			
乙部米穀株式会社	代表取締役 松葉忠良	541-0055 大阪市中央区船場中央3丁目 2番8号 B156東	06-4704-0290	06-4704-0293	△			
株式会社OTC	代表取締役 藤田誠吾	650-0034 神戸市中央区京町67番地 KANJUビル	078-391-8901	078-331-0445	△			
株式会社 カーギルジャパン	代表取締役 佐々木弘人	100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目 1番1号 国際ビル4F	03-3285-0800	03-3211-8934	△			

氏名・商号等	代表者 本所に対する代表者	所在地	電話	ファックス	農	水	砂	指
株式会社かね善	代表取締役 岡田善史	537-0013 大阪市東成区大今里南 1丁目1番26号	06-6975-4141	06-6975-4001	△			
カネツ商事株式会社	代表取締役社長 塩飽誠	103-0005 東京都中央区日本橋久松町12 番8号 ユヅ日本橋久松町ビル (大阪支店) 540-0031 大阪市中央区石町1丁目2番 9号 天満橋シルバービル7F	03-3662-0111	03-3662-3057			△	
株式会社カネマス商店	代表取締役 平野雅俊	577-0842 東大阪市足代南1丁目 16番8号	06-6722-0141	06-6722-3751	△			
岸和田食糧株式会社	代表取締役 櫻井敏雄	596-0052 岸和田市並松町9番2号	072-423-4367	072-423-4367	△			
木徳神糧株式会社	代表取締役社長 平山惇	101-0052 東京都千代田区神田小川町 2丁目8番 木徳神糧小川町ビル	03-3233-5121	03-3233-5131	△			
近畿食糧株式会社	代表取締役 水井時也	635-0082 奈良県大和高田市本郷町 11番14号	0745-52-3484	0745-53-6066			△	
株式会社 クリスタルライス	代表取締役社長 小野茂	103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 15番15号	03-4334-2175	03-4334-2178	△			
KOYO証券株式会社	代表取締役社長 鐘ヶ江輝彦 代表取締役副会長 村上久広	103-0004 東京都中央区東日本橋2丁目 13番2号 光陽東日本橋ビル (大阪支店) 530-0005 大阪市北区中之島3丁目 2番18号 住友中之島ビル4F	03-5825-3731	03-5825-6388	△			
株式会社米安	取締役社長 浅野嘉一	660-0871 兵庫県尼崎市建家町40番地	06-6411-6071	06-6411-4758	△			△
サクセス・コンサルティ ング株式会社	代表取締役 鶴篤志	101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2丁目1番34号	03-6367-2611	06-6367-2610	△			
株式会社四宮商店	代表取締役 四宮太一	652-0816 神戸市兵庫区永沢町3丁目 1番11号	078-512-1161	078-512-1167	△			
柴田米穀店	柴田富吉	599-8241 大阪府堺市中区福田1034-6	072-236-1457	072-236-1461	△			
株式会社神明	代表取締役社長 藤尾益雄	103-0016 東京都中央区日本橋小網町 16番15号 (神戸支店) 650-0023 神戸市中央区栄町通6丁目 1番21号	03-3666-2040	03-3666-2041	△			
杉原産業株式会社	代表取締役社長 杉原由高 取締役会長 杉原康夫	658-0033 神戸市東灘区向洋町西 6丁目7番地	078-846-3003	078-846-3006	△			△

氏名・商号等	代 表 者 本所に対する代表者	所在地	電話	ファックス	農	水	砂	指
石栄株式会社	代表取締役 大石克彦	542-0081 大阪市中央区南船場2丁目 5番24号	06-6261-8250	06-6261-5300	△			
全国米穀販売事業 共済協同組合	理事長 木村良	103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 15番15号	03-4334-2100	03-4334-2107	△			
千田みずほ株式会社	代表取締役 千田法久	240-0064 神奈川県横浜市保土ヶ谷区 峰岡町1丁目21番地	045-335-2613	045-331-5245	△			
大日本明治製糖株式会社	代表取締役社長 佐藤裕	103-0027 東京都中央区日本橋1丁目 5番3号 日本橋西川ビル (関西営業所) 530-0001 大阪市北区梅田1丁目1番 3-600号 大阪駅前第3ビル	03-3271-0101  06-6442-3366	03-3281-0339  06-6442-3377			△	
大和雑穀株式会社	代表取締役社長 泉剛史 代表取締役常務 泉信吾	080-2463 北海道帯広市西二十三条北 1丁目3番9号 (大阪支店) 536-0023 大阪市城東区東中浜7丁目 8番28号	0155-37-4331  06-6961-3731	0155-37-4337  06-6961-3174				△
高鍋商事株式会社	代表取締役社長 高鍋昌弘 取締役 高鍋弘	553-0001 大阪市福島区海老江6丁目 2番20号	06-6451-7616	06-6451-7319	△			△
株式会社田島屋	代表取締役社長 田嶋光夫	300-0811 茨城県土浦市上高津717番地	029-822-0001	029-823-8108	△			
津田物産株式会社	代表取締役社長 黒川悦春 代表取締役会長 奥吉治	538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目 7番3号	06-6961-5751	06-6968-0079	△			
中井産業株式会社	代表取締役 中井敏博	543-0027 大阪市天王寺区筆ヶ崎町 2番14号	06-6771-2212	06-6779-4019	△			△
日本コメ市場株式会社	代表取締役社長 藤尾益也	103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 15番15号	03-4334-2170	03-4334-2177	△			
日本甜菜製糖株式会社	取締役社長 惠本司	108-0073 東京都港区三田3丁目 12番14号 ニッテン三田ビル	03-6414-5533	03-6414-3984			△	
公益社団法人 日本べんとう振興協会	代表理事・会長 石原葵	103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 15番15号	03-5643-5611	03-5643-5612	△			
株式会社平尾食糧	代表取締役 平尾仁彦	543-0052 大阪市天王寺区大道2丁目 11番17号	06-6771-1565	06-6771-0868	△			
株式会社 フジオフードシステム	代表取締役社長 藤尾政弘	530-0046 大阪市北区菅原町2番16号 FUJIOBLDG.	06-6360-0301	06-6360-0305	△			

氏名・商号等	代表者 本所に対する代表者	所在地	電話	ファックス	農	水	砂	指
平和農産株式会社	代表取締役社長 角田光隆	650-0023 神戸市中央区栄町通1丁目 1番8号	078-331-5556	078-331-6331	△			
株式会社増田商店	代表取締役社長 増田重樹	652-0833 神戸市兵庫区島上町2丁目 1番26号	078-681-5681	078-651-5079	△			
湊商事株式会社	代表取締役 湊喜昭	650-0035 神戸市中央区浪花町59番地 神戸朝日ビル (大阪支店) 552-0013 大阪市港区福崎1丁目3番17号	078-321-3701  06-6572-8455	078-331-6734  06-6572-8458	△			
株式会社むらせ	代表取締役 村瀬賢正	103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 2丁目4番3号	03-3249-2671	03-3249-2676	△			
株式会社 明治フードマテリア	代表取締役社長 姫野真司 大阪支店長 今泉俊英	104-0031 東京都中央区京橋2丁目 4番16号 明治製菓ビル3F (大阪支店) 530-0001 大阪市北区梅田1丁目8番 17号 大阪第一生命ビル4F	03-3273-0360  06-6343-9120	03-3273-0290  06-6343-9122			△	
株式会社山三商会	代表取締役 櫻井映子	550-0011 大阪市西区阿波座1丁目 10番14号	06-6533-0252	06-6533-1566	△			
株式会社ヤマタネ	代表取締役社長 山崎元裕	135-8501 東京都江東区越中島1丁目 2番21号 ヤマタネビル	03-3820-1111	03-3820-9277	△			
リョーコクシヨウジ 株式会社	代表取締役社長 佐々木優輔	733-0833 広島市西区商工センター 5丁目7番5号	082-277-6455	082-278-0381	△			
株式会社SBI証券	代表取締役社長 高村正人	106-6019 東京都港区六本木一丁目 6番1号	03-5562-7210		△			
株式会社新和流通	代表取締役 鶴山益濟	550-0013 大阪市西区新町1丁目 22番22号-406号	06-6539-6987	06-6539-6989		△		
有限会社大松水産	代表取締役 松本陽一	596-0015 大阪府岸和田市地藏浜町 11番地1	0724-39-2118			△		
日本ポート産業株式会社	代表取締役社長 平松直典	658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町16番地	078-412-5541 (営業部)	078-451-8366		△		
株式会社松岡	代表取締役 松岡隆雄	750-8512 山口県下関市東大和町1丁目 10番12号	083-267-5566	083-267-5286		△		
マリノフーズ株式会社	代表取締役 蓑内真三	141-6011 東京都品川区大崎2丁目 1番1号 ThinkPark Tower	03-3452-8920	03-3452-8746		△		

一般会員計：57名

47 6 7 6

〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目10番14号

## 大阪堂島商品取引所

電話 06 (6531) 7931 (総務部) 代表

06 (6531) 7932 (業務部)

東京支所

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町15番15号

電話 03 (4334) 2185 (営業企画部)